

添付資料－２　大飯発電所　第４号機　第１６保全サイクル　保全計画

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「大飯発電所 第4号機 保全計画（第16保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

大 飯 発 電 所
第 4 号 機
第 1 6 保 全 サ イ ク ル
保 全 計 画

目 次

1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間・・・	1
2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の 方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・・	2
4. 特別な保全計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5. 保全に関する実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

別紙：点検計画（第16保全サイクル）

別図：施設定期検査時の安全管理の計画

参考資料－1：計画期間中における点検の実施状況等

参考資料－2：保全に関する実施体制

1. 保守管理の実施に関する計画の始期（施設定期検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第16回施設定期検査開始日から第17回施設定期検査開始日の前日までの期間（第16回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間(※)）とし、以降、この期間を第16保全サイクルという。

ただし、この期間内に第17回施設定期検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第16回施設定期検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の保安のための点検、検査（定期事業者検査を含む。）及び補修等の方法、実施頻度及び時期

（1）点検計画

施設定期検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「大飯発電所 保修業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・ 保全活動管理指標の監視結果
- ・ 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・ トラブルなど運転経験
- ・ 定期安全レビュー結果
- ・ 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・ リスク情報、科学的知見

（2）補修、取替え及び改造計画

a. 計装用電源装置改造工事：工事計画認可申請

○ 工事概要

計装用電源については、装置を構成する主要部品が製造中止となっており、設備の機能維持の観点から、保守性の向上を考慮し取り替える。

○ 予定時期

第16回施設定期検査期間中

b. 高エネルギーアーク損傷対策工事および大飯幹線・新綾部線系統変更工事

: 工事計画認可申請

○ 工事概要

その他発電用原子炉の附属施設のうち非常用電源設備において、高エネルギーのアーク放電による電気盤の損壊の拡大を防止するために必要な措置を講じる。

また、その他発電用原子炉の附属施設のうち常用電源設備において、大飯発電所に接続する500kV送電線の系統構成が一部変更となることから、要求事項に対する適合性を示す。

○ 予定時期

非常用電源設備：第16回施設定期検査期間中

常用電源設備：2019年7月～2020年1月

3. 発電用原子炉施設の保安のための点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

施設定期検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

4. 特別な保全計画

なし

5. 保全に関する実施体制

第16保全サイクルにおける保全については、大飯発電所原子炉施設保安規定第4条（保安に関する組織）、第5条（保安に関する職務）に基づく事業者管理体制により実施する。

また、第16保全サイクルの保全の実施にあたり、協力会社に役務を調達する場合には、当該点検及び工事に関する作業経験等の技術的要件（力量）も考慮の上、第125条（保守管理計画）に基づき調達要求等を定める「原子力部門における調達管理調達（平成27調原調達 第1号）」の規定に従い調達する。

なお、第16保全サイクルにおいて、協力会社に役務を調達する予定の主要な点検工事等を以下に示す。

- ・ 原子炉容器他主要設備定期点検工事
- ・ 発電機他主要電気設備定期点検工事
- ・ 蒸気発生器細管検査他付帯工事
- ・ タービン主機他一般設備定期点検工事
- ・ 1次系大型モータ他定期点検工事
- ・ 計装用電源装置改造工事
- ・ 高エネルギーアーク損傷対策工事および大飯幹線・新綾部線系統変更工事

別紙

点 検 計 画
(第 1 6 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14第1項に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、工事計画書に記載が要求されている設備

なお、工事計画書において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検

- ・ 施設定期検査の都度性能維持のための措置を伴う点検

- ・ 施設定期検査対象機器に係る点検のうち、定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検

- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「大飯発電所 保守業務所則（平成15大原保所則 第1号）」に基づき策定した「保全指針」及び「大飯発電所 土木建築業務所則（平成19大原土所則 第1号）」

に定めている。

※1：附帯設備の例

〔潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス〕
レジューサ、フログラス 等

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2と表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・ これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該

点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。

- ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・ 機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント施設定期検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・ 時間基準保全の点検については、“施設定検起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、施設定検停止中に実施することとしている。
- ・ プラント停止（施設定期検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・ 保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・ 保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・ 状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第16 保全サイクル中に点検を計画するものについては、参考資料1「点検計画」に「○」※3を記載している。

また、参考資料1「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※4も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/45
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/45
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	4/45
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[原子炉補機冷却設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
[蒸気タービンの附属設備]	
計測制御系統施設	19/45
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	23/45
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
放射線管理施設	24/45
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	30/45
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	35/45
[その他設備]	
原子力設備・タービン設備	35/45
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
蒸気タービン	36/45
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	41/45
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
[常用電源設備]	
[火災防護設備]	
[浸水防護施設]	
土木建築設備	45/45
プラント総合	45/45
全般機器	45/45

・点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集合体	※ 1式	高	1F	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	照射済燃料集合体（取出燃料）	※ 1式	高	1F		※：炉心設計による
	燃料集合体	193体	高	1F	燃料集合体炉内配置検査	
	内挿物 ・制御棒クラススタ ・バーナブルポイズン ・シンブルブラガアセンブリ ・2次中性子源	※ 1式	高	1F	燃料集合体炉内配置検査 (炉内配置)	※：炉心設計による
原子炉本体 〔原子炉容器〕	原子炉本体のうち炉心		高	1F	原子炉停止余裕検査	施設定検起動後
		1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高	1F	炉物理検査	
	原子炉容器	1. 開放点検	高	13M		
	原子炉容器 (制御棒クラススタ案内管支持ピンおよび 水位計支持管支持ピン)	1. 外観点検	高	3F	構造健全性検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	燃料移送装置	1台	高	1F	燃料取扱装置機能検査	
	燃料取替クレーン	1. 機能・性能試験 (リフティング・フレー ム)	高	1F	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	
		2. 機能・性能試験		1F		
		3. 簡易点検 (潤滑油給油)		26M		
	燃料取替クレーン	1. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱装置機能検査	
		2. 機能・性能試験		1F	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	
		3. 簡易点検 (潤滑油給油)		26M		
	使用済燃料ピットクレーン	1. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱装置機能検査	
		2. 機能・性能試験		1F	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	先行実施
		3. 簡易点検 (潤滑油給油)		26M		
	新燃料エレベータ	1. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱設備検査	先行実施
		2. 機能・性能試験		1F	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	
		3. 簡易点検 (潤滑油給油)		26M		
補助建屋クレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	燃料取扱設備検査	先行実施
		2. 機能・性能試験		1F	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	
		3. 簡易点検 (潤滑油給油)		26M		
	1台	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験 3. 簡易点検 (点検手入れ)	高	1Y	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	年次点検 プラント運転中又は施設定 検停止中
新燃料取扱工具	1台	1. 外観点検	低	1F	燃料取扱設備検査（動作・ インターロック試験等）	先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	使用済燃料取扱工具	1. 外観点検	低	1F	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	先行実施
	燃料仮置ラック	1. 外観点検	高	1F	燃料取扱設備検査（動作・インターロック試験等）	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取扱設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～130M		
	使用済燃料ピット温度	1. 特性試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	計測制御系監視機能検査	15回施設設定検時に設置
	使用済燃料ピット温度（AM用）	1. 特性試験	高	13M	プラント状態監視設備機能検査	15回施設設定検時に設置
	使用済燃料ピット水位（AM用）	1. 特性試験	高	13M	プラント状態監視設備機能検査	15回施設設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬式重大事故等対処設備機能検査	15回施設設定検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	1. 機能・性能試験	高	1F	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機等含む）	高	1F		
	A 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	91M		（振動診断：6 M） 先行実施
		2. 分解点検 （電動機）		78M		
		3. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M		
	B 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	91M		（振動診断：6 M） 先行実施
		2. 分解点検 （電動機）		78M		
		3. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M		
	送水車	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬式重大事故等対処設備機能検査	プラント運転中又は施設設定検停止中 15回施設設定検時に設置
		2. 外観点検		1Y		
	A 使用済燃料ピットフィルタ	1. 開放点検	高	130M		先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	B 使用済燃料ピットフィルタ	1. 開放点検	高	130M		先行実施
	A 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検	高	195M	1 次系熱交換器検査	先行実施
		2. 非破壊試験		195M	1 次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映
		3. 漏えい試験		195M		
	B 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検	高	195M	1 次系熱交換器検査	先行実施
		2. 非破壊試験		195M	1 次系熱交換器検査	有効性評価 No. 1 の反映
		3. 漏えい試験		195M		
	C 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検	高	130M		先行実施
		2. 漏えい試験		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （○）内は適用する 設備診断技術）
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B		
		2. 分解点検		104M～130M	1次系弁検査	一部先行実施
		3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		130M		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 設 〔燃料取替用水設備〕	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高・低	78M		
	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		52M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M		
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		52M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 料取替用水設備〕 その他の弁	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設〔燃料取替用水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B		
		2. 分解点検		130M	1次系弁検査	一部先行実施
		3. 簡易点検 (グラランドパッキン取替)		130M		
		1. 分解点検他		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3,382本 1次側	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査
		2次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	
		マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	
	B 蒸気発生器	伝熱管 3,382本 1次側	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査
		2次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	
		マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	
	C 蒸気発生器	伝熱管 3,382本 1次側	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査
		2次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	
		マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	
	D 蒸気発生器	伝熱管 3,382本 1次側	1. 非破壊試験	高	26M	蒸気発生器伝熱管体積検査
		2次側	1. 開放点検	高	13M	1次系熱交換器検査
			2. 簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	
		マンホール	1. 簡易点検 (ガスケット取替他)	高	13M	
	加圧器	3個 4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	1. 機能・性能試験 2. 漏えい試験 3. 分解点検	高	1F	加圧器安全弁機能検査
			1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	B	加圧器安全弁漏えい検査
			2. 漏えい試験	高	13M	加圧器安全弁分解検査
			3. 分解点検	高	1F	加圧器逃がし弁機能検査
	加圧器逃がし弁	4PCV-452A	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	加圧器逃がし弁漏えい検査
			2. 漏えい試験	高	1F	加圧器逃がし弁漏えい検査
			3. 分解点検	高	26M	加圧器逃がし弁分解検査

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	加圧器逃がし弁駆動部	1. 分解点検	高	26M		
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M		
	加圧器逃がし弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	加圧器逃がし弁機能検査	
		2. 漏えい試験		1F	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		3. 分解点検		26M	加圧器逃がし弁分解検査	
				26M		
	加圧器逃がし弁駆動部	1. 分解点検	高	13M		
		2. 簡易点検 (特性点検)				
	加圧器逃がし弁前弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	加圧器逃がし弁弁機能検査	
		1. 分解点検		130M		
		1. 分解点検		130M		
		1. 分解点検		78M		
	加圧器逃がし弁前弁駆動部	1. 分解点検	高	13M～78M		
		2. 簡易点検 (特性点検)				
	A 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定期検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術 一部施設設定検起動後
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		
	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設設定検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部先行実施
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	D 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定期検起動後
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M		
		3. 分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	
		4. 分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M		
		5. 分解点検 (軸受分解) (電動機)		52M		
		6. 分解点検 (全分解) (電動機)		104M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		
	原子炉冷却系統施設〔一次冷却材の循環設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		52M～260M		
		3. 分解点検		78M～130M	1 次系弁検査	一部BMあり
		4. 簡易点検 (グラインドバッキング取替)		39M～130M		
	原子炉冷却系統施設〔一次冷却材の循環設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		26M～65M		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～65M		
	原子炉冷却系統施設〔一次冷却材の循環設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高 低	13M～104M		
		2. 分解点検他		13M～65M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	主蒸気安全弁	20個	高	1F	主蒸気安全弁機能検査	
		B, D系	高	B	主蒸気安全弁漏えい検査	
		4V-MS-526B		26M		
		4V-MS-527B				
		4V-MS-528B				
		4V-MS-529B				
		4V-MS-530B				
		4V-MS-526D				
		4V-MS-527D				
		4V-MS-528D				
		4V-MS-529D				
		4V-MS-530D				
	主蒸気逃がし弁	A, C系	高	B	主蒸気安全弁漏えい検査	
		4V-MS-526A		26M		
		4V-MS-527A				
		4V-MS-528A				
		4V-MS-529A				
		4V-MS-530A				
		4V-MS-526C				
		4V-MS-527C				
		4V-MS-528C				
		4V-MS-529C				
		4V-MS-530C				
	主蒸気逃がし弁	4個	高	1F	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシンク熱輸送設 備作動検査は、15回施設 検から設定	
		4PCV-3610		B	主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		4PCV-3620		13M		
		4PCV-3630				
	主蒸気逃がし弁駆動部	4PCV-3640		13M		
			高	52M		
				13M		
	主蒸気隔離弁	4個	高	1F	主蒸気隔離弁機能検査	
		4V-MS-533A		39M	2次系弁検査	
		4V-MS-533B		39M	2次系弁検査	
		4V-MS-533C		39M	2次系弁検査	
	主蒸気隔離弁駆動部	4V-MS-533D		39M	2次系弁検査	
			高	39M		
			高	39M		
				13M		
	タービンバイパス弁	15個	高	1F	タービンバイパス弁機能検 査	
				26M		
	タービンバイパス弁駆動部		高	52M		
				13M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	原子炉炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	2次系弁検査	一部BMあり
		2. 分解点検		26M～260M	2次系弁検査	
		3. 簡易点検 (グラインドパッキン取替)		52M～130M		
	原子炉炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	2次系弁検査	
		2. 分解点検		26M～182M		
		3. 簡易点検 (時性点検)		13M～182M		
原子炉炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	原子炉炉冷却系統施設〔主蒸気・主給水設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～104M		
		2. 分解点検他	低	13M～104M		
		1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設設定 から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		91M		
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		78M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		
	B余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設設定 から設定 有効性評価 No. 18 の反映
		2. 分解点検 (ポンプ)		78M	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		91M		
		4. 簡易点検 (メカニカルシール取替)		78M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		6. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		
		7. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		8. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉炉冷却系統施設 〔余熱除去設備〕	低圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設定検から設定
	A 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験	高	130M	1 次系熱交換器検査	
		1. 開放点検	高	130M	1 次系熱交換器検査	
	B 余熱除去冷却器	2. 非破壊試験	高	130M	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験	高	130M	1 次系熱交換器検査	
		1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検	高	52M～260M	1 次系弁検査	一部BMあり
	原子炉炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他の弁	3. 分解点検	低	78M～130M		
		4. 簡易点検 （グラブドパッキン取替）	高・低	65M～130M		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検	高	52M～182M		
	原子炉炉冷却系統施設〔余熱除去設備〕 その他の弁駆動部	3. 簡易点検 （特性点検）	高	13M～182M		
		1. 分解点検他	高	13M～91M		
		2. 分解点検他	低	65M～130M		
		1. 分解点検他	高	130M～182M	1 次系弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉炉心冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	高圧及び低圧注入系 （余熱除去設備（低圧注入機能）を含む）	1. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む）	高	1F	非常用炉心冷却系機能検査	
		2. 機能・性能試験 （ポンプ、電動機、状態 監視等含む）		6M	運転中の主要機器機能検査 （状態監視含む）	プラント運転中 〔対象設備〕 ・A, B 高圧注入ポンプ ・A, B 余熱除去ポンプ
	その他原子炉注水系	1. 機能・性能試験	高	1F	その他原子炉注水系機能検査	〔対象設備〕 ・A, B 低圧注入系 ・A, B 高圧注入系 ・B 高圧注入系（電動機海水 冷却） ・A, B, C 充てん系 ・B 充てん系（電動機自己冷 却） 15回施設定検から設定
	A 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	130M	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 （電動機）		91M		
		3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替） （ポンプ）		130M		有効性評価 No. 18 の反映
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M		
	B 高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 （ポンプ）	高	130M	非常用炉心冷却系ポンプ分 解検査 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	（振動診断：3M） その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 （電動機）		91M		
		3. 簡易点検 （メカニカルシール取 替） （ポンプ）		130M		有効性評価 No. 18 の反映
		4. 簡易点検 （潤滑油入替） （ポンプ）		26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目 (ポンプ、電動機含む)	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉炉心冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	恒設代替低圧注水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	その他原子炉注水系機能検査 原子炉格納容器安全系機能検査	15回施設設定検時に設置
	恒設代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 漏えい試験	高	1F		15回施設設定検時に設置
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1Y	可搬式重大事故等対処設備 機能検査	プラント運転中又は施設定 検停止中 15回施設設定検時に設置
		2. 分解点検 (ポンプ)		10Y		
		3. 分解点検 (電動機)		130M		
	高圧注水系主要弁	1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査	
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		1. 分解点検	高	260M	非常用炉心冷却系主要弁分 解検査 その他原子炉注水系主要弁 分解検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉炉心冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部含む)	高	1F	非常用炉心冷却系統機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	その他原子炉注水系統機能検査は、15回施設設定検 定
	蓄圧注入系主要弁	4V-SI-132A	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-132B	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-132C	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-132D	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-134A	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-134B	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-134C	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-134D	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-136A	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-136B	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-136C	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定
		4V-SI-136D	高	130M	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は、15回施設設定検 定

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	蓄圧注入系主要弁駆動部	1. 分解点検	高	182M		
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
		1. 開放点検	高	130M		
		1. 開放点検	高	130M		
		1. 開放点検	高	130M		
		1. 開放点検	高	130M		
		1. 外観点検	高	1F		
		1. 外観点検	高	1F		
		1. 外観点検	高	1F		
		2. 外観点検	高	10Y	原子炉格納容器再循環サンプスクリーン検査	
	原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査 1 次系安全弁検査	
		2. 分解点検	高	65M～260M	1 次系弁検査 1 次系逆止弁検査	
		3. 分解点検	低	78M～260M		一部BMあり 有効性評価 No. 17 の反映
	原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕 その他の弁駆動部	4. 簡易点検 (クランドパッキング取替)	高・低	78M～130M		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		65M～182M		
	原子炉冷却系統施設〔非常用炉心冷却設備〕 その他の機器	3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
		1. 分解点検他	高	13M～91M		
		2. 分解点検他	低	13M～130M		
原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	充てんポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等含む)	高	1F	充てんポンプ冷却材補給系機能検査	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 化学体積制御系充てんポンプ分解検査	(振動診断：6M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は、15回施設検から設定
	A 充てんポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)		91M		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取替) (ポンプ)		26M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		13M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	B 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 化学体積制御系統てんポン プ分解検査	(振動診断：6M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 (電動機)		91M		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替) (ポンプ)		26M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		13M		
	C 充てんポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	65M	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査	(電動機 振動診断：3 M) その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設定検 から設定
		2. 分解点検 (電動機)		104M		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
	その他原子炉注水系主要弁	1. 分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
		4V-CS-155				
		4V-CS-157		130M	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	
		4V-CS-164		130M	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	
	4V-CS-166	1. 分解点検	高	130M	その他原子炉注水系主要弁 分解検査 1次系弁検査	その他原子炉注水系主要弁 分解検査は、15回施設定検 から設定
	体積制御タンク	1. 開放点検	高	130M		
	冷却材フィルタ	1. 開放点検	高	130M		先行実施
	A 冷却材脱塩塔入口フィルタ	1. 開放点検	高	130M		先行実施
	B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	1. 開放点検	高	130M		
	A 封水注入フィルタ	1. 開放点検	高	130M		
	B 封水注入フィルタ	1. 開放点検	高	130M		
	非再生冷却器	1. 開放点検	高	130M	1次系熱交換器検査	
	封水冷却器	2. 非破壊試験	高	130M	1次系熱交換器検査	
	余剰抽出水冷却器	3. 漏えい試験	高	130M	1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検	高	130M		
		2. 非破壊試験	高	130M		
		3. 漏えい試験	高	130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕	原子炉炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁	1式	高・低	B	1次系弁検査	
			高	13M～260M	1次系安全弁検査	
			低	78M～195M	1次系逆止弁検査	一部BMあり
			高・低	65M～130M	1次系逆止弁検査	
	原子炉炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他の弁駆動部	1式	高・低	B	1次系弁検査	
				52M～182M		
				13M～182M		
	原子炉炉冷却系統施設〔化学体積制御設備〕 その他機器	1式	高	13M～130M		
			低	13M～130M		一部BMあり
			高	1F	原子炉補機冷却系機能検査	
原子炉炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	A原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2.分解点検 (ポンプ)		52M		
		3.分解点検 (電動機)		91M		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M		
		5.簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M		
		1.機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2.分解点検 (ポンプ)		52M		
		3.分解点検 (電動機)		91M		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M		
		5.簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M		
	B原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2.分解点検 (ポンプ)		52M		
		3.分解点検 (電動機)		91M		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M		
		5.簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M		
	C原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B*	1次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6M)
		2.分解点検 (ポンプ)		52M		
		3.分解点検 (電動機)		91M		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M		
		5.簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却設備〕	D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	1 次系ポンプ機能検査	B*：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：6 M)
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M		
		3. 分解点検 (電動機)		91M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 ポンプ)		26M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替 電動機)		26M		
	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷 却水ポンプ	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	15回施設検時に設置
	原子炉補機冷却水サージタンク	1. 開放点検	高	130M		
		1. 分解点検	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	
		1. 開放点検	高	13M		
	A 原子炉補機冷却水サージタンク真空逃がし弁	2. 非破壊試験	高	13M	1 次系熱交換器検査	有効性評価 No. 2 の反映
		3. 漏えい試験		13M		
		1. 開放点検		13M		
	B 原子炉補機冷却水冷却器	2. 非破壊試験	高	26M	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		13M		
		1. 開放点検		13M		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水 設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		130M～260M	1 次系安全弁検査	
		3. 簡易点検 (グラインドパッキン取 替)		130M～195M	1 次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水 設備〕 その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検		65M～182M		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
	原子炉冷却系統施設〔原子炉補機冷却水 設備〕 その他機器	1. 分解点検他	高	13M～130M		
		2. 分解点検他	低	13M～65M		
	その他AM(代替補機冷却、格納容器自然 対流冷却) 機器	1. 分解点検他	高	13M～130M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却系 (海水系)	1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む)	高	1F	原子炉補機冷却系機能検査	
	A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	2 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	2 次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		104M		有効性評価 No. 3 の反映
		4. 簡易点検 (グラインドパッキン取 替) (ポンプ)		13M		
	B 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	2 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	2 次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		104M		有効性評価 No. 3 の反映
		4. 簡易点検 (グラインドパッキン取 替) (ポンプ)		13M		
	C 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B*	2 次系ポンプ機能検査	B* : ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M	2 次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)		104M		有効性評価 No. 3 の反映
		4. 簡易点検 (グラインドパッキン取 替) (ポンプ)		13M		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海 水設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	2 次系弁検査	
		2. 分解点検		13M～65M		
		1. 機能・性能試験		B	2 次系弁検査	
		2. 分解点検		78M		
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海 水設備] その他の弁駆動部	3. 簡易点検 (特性点検)	高	13M～52M		
		1. 機能・性能試験		13M～65M		
		2. 分解点検他		13M～52M		一部DMあり
		1. 特性試験		13M	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材 の漏えいを監視する装置〕	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置	2. 機能・性能試験	低	1F	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	15回施設定検時に改造
	炉内計装用シンブル配管室ドレンピット 漏えい検出装置	検出器 2個	高	1F	格納容器サンプ水位上昇率 測定装置及び格納容器内凝 縮液量測定装置漏えい検出 器機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動 機、弁、弁駆動部等含 む)	高	1F	補助給水系機能検査	
	A 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M		
	B 電動補助給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断：3M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		26M		
	タービン動補助給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	2次系ポンプ機能検査	(振動診断：3M)
		2. 分解点検		52M	補助給水系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (ストレーナ清掃)		26M		
	4 復水ピット 原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁	1. 外観点検	高	1F		
		1. 機能・性能試験	高	B	2次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～260M	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他の弁駆動部	3. 簡易点検 (グラッドパッキング取 替)	高	130M		
		1. 機能・性能試験		B	2次系弁検査	
		2. 分解点検		78M～182M		
	原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンの附属設備〕 その他機器	3. 簡易点検 (特性点検)	高	13M～182M		
		1. 分解点検他		13M～130M		
計制御系統施設 〔制御材〕	制御棒クラスタ	※ 1式	高	1F	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	バーナボーイズン	※ 1式	高	1F	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	2次中性子源	※ 1式	高	1F	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による
	シンブルアラダセンブリ	※ 1式	高	1F	制御棒クラスタ検査	※：炉心設計による

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕	制御棒クラスタ	53本	1. 機能・性能試験 2. 機能・性能試験	高	1F	制御棒駆動系機能検査	
	A制御棒駆動装置MGセット		1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高	52M 26M		(振動診断：3M)
	B制御棒駆動装置MGセット		1. 分解点検 2. 簡易点検 (潤滑油入替) (発電機)	高	52M 26M		(振動診断：3M)
	計測制御系統施設〔制御棒駆動装置〕 その他機器		1. 分解点検他	高・低	13M～39M		
	Aほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B＊	ほう酸ポンプ機能検査	B＊：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		78M	ほう酸ポンプ分解検査	
			3. 分解点検 (電動機)		52M		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
	Bほう酸ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B＊	ほう酸ポンプ機能検査	B＊：ポンプまたは電動機 の分解点検にあわせて実施 (振動診断：3M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		78M	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 〔工学的安全施設等の作動信号〕			3. 分解点検 (電動機)		52M		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
	Aほう酸タンク		1. 開放点検	高	130M		
	Aほう酸タンク真空逃がし弁		1. 分解点検	高	130M	1次系真空破壊弁検査	
	Bほう酸タンク		1. 開放点検	高	130M		
	Bほう酸タンク真空逃がし弁		1. 分解点検	高	130M	1次系真空破壊弁検査	
	ほう酸フィドルタ		1. 開放点検	高	130M		
	計測制御系統施設〔ほう酸注入機能を有 する設備〕 その他の弁		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 130M		
	A TWS緩和設備		1. 特性試験	高	13M	重大事故時安全停止回路機 能検査	15回施設設定検時に設置
			2. 機能・性能試験		1F	重大事故時安全停止回路機 能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術）					
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	制御用空気圧縮機	2台	1. 機能・性能試験 （空気圧縮機、電動機等を含む）	高	1F	制御用空気圧縮系機能検査						
	A 制御用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検 （圧縮機）	高	13M		（電動機 振動診断：6M）					
			2. 分解点検 （電動機）		52M							
	B 制御用空気圧縮機・電動機		1. 分解点検 （圧縮機）	高	13M		（電動機 振動診断：6M）					
			2. 分解点検 （電動機）		52M							
	代替制御用空気供給設備	1式	1. 機能・性能試験	高	1F		15回施設定検時に設置					
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の弁	一式	1. 機能・性能試験	高・低	B	1次系弁検査						
			2. 分解点検		13M～195M	1次系弁検査						
			3. 簡易点検 （グラインドパッドキレン替）		130M							
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他の機器	一式	1. 機能・性能試験	高	B	1次系弁検査						
計測制御系統施設 〔その他設備〕	・原子炉保護系ロジック回路 ・安全防護系ロジック回路 ・バミミシブロジック回路	28回路 25回路 6回路	2. 分解点検		13M～182M		有効性評価 No. 4 の反映					
			3. 簡易点検 （特性試験）		13M～182M							
			1. 分解点検他		13M～78M							
	計測制御系統施設〔制御用空気設備〕 その他機器	一式	2. 分解点検他	高	13M							
			1. 機能・性能試験	高	1F	安全保護系機能検査						
			1. 特性試験	高・低	13M	安全保護系設定値確認検査						
	原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 ・ 1次冷却材等計測装置 保護継電器 伝送器 設定器 ・核計測装置 重要な指示計器 ・ 1次冷却材等計測装置 指示計 ・核計測装置 指示計	6個 76個 117個 20個 31個 8個										
								事故時監視計器 ・ 圧力監視計器 ・ 水位監視計器 ・ 流量監視計器 ・ 温度監視計器	2個 16個 8個 10個	高	プラント状態監視設備機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術
計測制御系統施設 [その他設備]	・制御棒制御系 ・加圧器水位制御系 ・加圧器圧力制御系 ・蒸気発生器水位制御系	1式	1. 機能・性能試験	高	計測制御系機能検査	一部施設定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	1式	1. 特性試験	高・低	計測制御系監視機能検査	
	炉外核計測装置	2個	1. 特性試験	高	核計装設備検査	一部施設定検起動後
	・中性子領域検出器 ・中間領域検出器 ・出力領域検出器	2個 2個 8個		13M		
	炉内核計測装置	4台	1. 機能・性能試験	高	核計装設備検査	
	駆動装置		2. 分解点検	13M		
	制御棒位置指示装置		1. 特性試験	13M	制御棒位置指示装置設定値 検査	
	炉内計装用シンブルチェューブ	58本	1. 非破壊試験	78M	炉内計装用シンブルチェュー ブ体積検査	
	総合インターロック ・原子炉トリップ信号 (タービン、発電機トリップ) ・タービントリップ信号 (原子炉、発電機トリップ) ・発電機トリップ信号 (原子炉、タービントリップ)	1式	1. 機能・性能試験	高	総合インターロック検査	
	中央制御室外の原子炉の停止制御回路	24回路	1. 機能・性能試験	1F	原子炉の停止制御回路健全 性確認検査	
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	1. 特性試験	高	プラント状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	原子炉水位	1個	1. 特性試験	13M	プラント状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	AM用格納容器圧力	1個	1. 特性試験	13M	プラント状態監視設備機能 検査	プラント状態監視設備機能 検査は、16回施設定検から 実施
	可搬型格納容器水素ガス濃度	2個	2. 特性試験	26M		
	原子炉格納容器冷却水サージタンク加圧ライ ン圧力	2個	1. 特性試験	13M	計測制御系監視機能検査	15回施設定検時に設置
	格納容器スプレイ積算流量	1個	1. 特性試験	13M	プラント状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	原子炉格納容器水位	1対	1. 機能・性能試験	高	プラント状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	原子炉下部キャビティ水位	1対	1. 機能・性能試験	1F	プラント状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	アニュラス水素濃度	2個	1. 特性試験	13M	プラント状態監視設備機能 検査	15回施設定検時に設置
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	2台	1. 機能・性能試験	高	可搬型重大事故等対処設備 機能検査	15回施設定検時に設置

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 [その他設備]	計測制御系統施設 [その他設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高	78M～260M	1 次系弁検査	
			3. 分解点検	低	104M～130M	1 次系逆止弁検査	一部BMあり
			4. 簡易点検 (グラウンドバッキング取替)	高・低	65M～130M		
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	計測制御系統施設 [その他設備] その他機器	1式	1. 特性試験也	高	13M～52M		
			2. 特性試験也	低	13M～78M		一部BMあり
	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		26M		
			3. 分解点検 (電動機)		52M		
	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		26M		
			3. 分解点検 (電動機)		52M		
	A 格納容器サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		78M		水中ポンプ
			3. 分解点検 (電動機)		78M		
	B 格納容器サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		78M		水中ポンプ
			3. 分解点検 (電動機)		78M		
	A 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		195M		先行実施
			3. 分解点検 (電動機)		156M		
	B 原子炉周辺建屋サンプポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B*	液体廃棄物処理系設備検査	B*：ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
			2. 分解点検 (ポンプ)		195M		先行実施
			3. 分解点検 (電動機)		156M		
	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能（最終の流入サンプ）	1式	1. 機能・性能試験	低	1F	流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査（最終の流入サンプ）	先行実施

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理 設備〕	放射性的廃棄物の廃棄施設 は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁	1. 機能・性能試験	低	B	1 次系安全弁検査	一部BMあり
		2. 分解点検	高・低	104M～130M	1 次系弁検査	
		3. 簡易点検 (グラウンドバッキング 替)	低	130M	1 次系逆止弁検査	
放射性廃棄物の廃棄施設 は固体廃棄物処理設備〕 その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	低	B		一部先行実施
		2. 分解点検		65M～130M		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～130M		
放射性廃棄物の廃棄施設 は固体廃棄物処理設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M～130M		一部先行実施 一部BMあり
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A格納容器内高レンジェリアモニタ（低 レンジ）	1. 特性試験	高	13M	エリアモニタ機能検査	
	A格納容器内高レンジェリアモニタ（高 レンジ）	1. 特性試験	高	13M	エリアモニタ機能検査	
B格納容器内高レンジェリアモニタ（低 レンジ）	4R-92A	1. 特性試験	高	13M	エリアモニタ機能検査	
		1. 特性試験	高	13M	エリアモニタ機能検査	
A排気筒ガスモニタ	4R-21A	1. 機能・性能試験	低	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
B排気筒ガスモニタ	4R-21B	1. 機能・性能試験	低	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
格納容器じんあいモニタ	4R-40	1. 機能・性能試験	低	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
格納容器ガスモニタ	4R-41	1. 機能・性能試験	低	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
復水器空気抽出器ガスモニタ	4R-43	1. 機能・性能試験	高	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
蒸気発生器プロダウナ水モニタ	4R-55	1. 機能・性能試験	高	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
原子炉補機冷却水モニタ	4R-56	1. 機能・性能試験	低	1F	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		2. 特性試験		13M	放射線監視装置機能検査	
タービン建屋床ドレン集水モニタ	4R-58	1. 機能・性能試験	低	1F		一部先行実施
		2. 特性試験		13M		
A高感度型主蒸気管モニタ	4R-65	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	
B高感度型主蒸気管モニタ	4R-66	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	
C高感度型主蒸気管モニタ	4R-67	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	
D高感度型主蒸気管モニタ	4R-68	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	低	13M	放射線監視装置機能検査	
冷却材連続モニタ	4R-70	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	
排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	4R-80A	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	
排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	4R-80B	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	一部先行実施
		1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装置〕	A主蒸気管モニタ	4R-87	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査
	B主蒸気管モニタ	4R-88	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査
	C主蒸気管モニタ	4R-89	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査
	D主蒸気管モニタ	4R-90	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査
	格納容器エアロック区域エリアモニタ	4R-2	1. 特性試験	低	13M	放射線監視装置機能検査
	A充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4A	1. 特性試験	低	13M	放射線監視装置機能検査
	B充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4B	1. 特性試験	低	13M	放射線監視装置機能検査
	C充てんポンプ室エリアモニタ	4R-4C	1. 特性試験	低	13M	放射線監視装置機能検査
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	4R-5	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査
	炉内計装区域エリアモニタ	4R-7	1. 特性試験	低	13M	放射線監視装置機能検査
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	2台	1. 特性試験	高	13M	放射線監視装置機能検査 15回施設設定検時に設置
	放射線管理施設〔放射線管理用計測装置〕	1式	1. 分解点検他	高	13M	
	その他機器	2. 分解点検他	低	13M		
	中央制御室非常用循環系	1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、ダンパ、ダンパ駆動部等含む)	高	1F	中央制御室非常用循環系機能検査	
放射線管理施設 〔換気設備〕	A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	91M		(振動診断：3 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	91M		(振動診断：3 M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	中央制御室非常用循環フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	1F	中央制御室非常用循環系 フィルター性能検査	
		2. 開放点検 (フィルタ取替)		X*		X*:機能・性能試験結果により適宜実施
		3. 機能・性能試験 (差圧確認)		1F	1 次系換気空調設備検査	
		4. 開放点検		260M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する設備診断技術
放村廠管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		B		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		(電動機 振動診断：1 2 M) 先行実施
	B 格納容器給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		B		電動機分解時に分解点検を実施 先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		(電動機 振動診断：1 2 M) 先行実施
	A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		
	B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		先行実施
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		
	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		65M		
	B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		65M		
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		65M		
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		65M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
放村廠管理施設 [換気設備]	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		65M		
	B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		65M		
	A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M		
		3. 分解点検 (電動機)		78M		
	B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M		
		3. 分解点検 (電動機)		78M		
	A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断： 6 M)
		2. 分解点検 (ファン)		91M		(電動機 振動診断： 2 M)
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		
	B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	(ファン 振動診断： 6 M)
		2. 分解点検 (ファン)		91M		(電動機 振動診断： 2 M)
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		
	A 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	(振動診断： 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		
	B 補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	1 次系換気空調設備検査	(振動診断： 1 2 M) 先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術 (振動診断：1 2 M) 先行実施
放村廠管理施設 [換気設備]	A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M		
		3.分解点検 (電動機)		CBM		
	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M		
		3.分解点検 (電動機)		CBM		
	C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1 2 M) 先行実施
		2.分解点検 (ファン)		130M		
		3.分解点検 (電動機)		CBM		
	A安全補機室冷却ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断：3 M)
		2.分解点検 (ファン)		104M		
		3.分解点検 (電動機)		104M		
	B安全補機室冷却ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	(電動機 振動診断：3 M)
		2.分解点検 (ファン)		104M		
		3.分解点検 (電動機)		104M		
	Aほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		78M		
		3.分解点検 (電動機)		78M		
	Bほう酸ポンプ室空調ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		78M		
		3.分解点検 (電動機)		78M		
	A格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		BM		
		1.機能・性能試験 (差圧確認)		1F	1次系換気空調設備検査	
	B格納容器排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		BM		
		1.機能・性能試験 (差圧確認)		1F	1次系換気空調設備検査	
	格納容器空気浄化フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F	1次系換気空調設備検査	
		2.開放点検		BM		
		1.機能・性能試験 (差圧確認)		1F	1次系換気空調設備検査	
	A補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		52M		
		1.機能・性能試験 (差圧確認)		1F	1次系換気空調設備検査	
	B補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.開放点検		52M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F		先行実施
		2. 開放点検		52M		
	B 格納容器給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	低	1F		先行実施
		2. 開放点検		52M		
	A 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F		
		2. 開放点検		52M		
	B 中央制御室空調ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F		
		2. 開放点検		52M		
	A 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F		先行実施
		2. 開放点検		52M		
	B 補助建屋給気ユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F		先行実施
		2. 開放点検		52M		
	A 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M		
		2. 開放点検		52M		
	B 安全補機室冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M		
		2. 開放点検		52M		
	A 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M		
		2. 開放点検		52M		
	B 格納容器冷却ユニット	1. 開放点検	高	52M		
		2. 開放点検		52M		
	自動ダンバ	1. 機能・性能試験 (駆動部を含む)	高・低	1F	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施
		2. 分解点検他		39M～65M		
	自動ダンバ駆動部	1. 分解点検	高・低	52M～156M		一部先行実施 有効性評価 No. 8, 9 の反映
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M～65M		
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	B	1 次系安全弁検査	一部先行実施
		2. 分解点検		130M	1 次系弁検査	
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁駆動部	3. 簡易点検 (グラブドパッキン取替)	高・低	130M		
		1. 機能・性能試験		B	1 次系弁検査	
		2. 分解点検	高・低	52M～182M		一部先行定検 有効性評価 No. 10 の反映
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
	放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1. 分解点検他	高・低	13M～130M		一部先行実施 有効性評価 No. 5, 6, 7, 11 の反映
		2. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術） 10年に1回は設計圧力にて 実施
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	原子炉格納容器全体漏えい 率検査	
	プレストレストコンクリート格納容器	1. 機能・性能試験	高	5Y	プレストレストコンクリート 格納容器供用期間中検査	
		2. 外観点検		5Y	プレストレストコンクリート 格納容器供用期間中検査	
	エアロック	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 分解点検		52M		
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M		
		1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 分解点検		52M		
		3. 簡易点検 (潤滑油補給他)		26M		
	機器搬入口	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 開放点検		13M		
		3. 非破壊試験		10Y	原子炉格納容器供用期間中 検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料 1 別紙-6 〕
		1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
		2. 開放点検		開放の 都度		
	配管貫通部（貫通配管閉止フランジ部）	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
	電線貫通部	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1. 漏えい率試験	高	2/3F	原子炉格納容器局部漏えい 率検査	
	原子炉格納容器隔離（T・V信号及びT +UV信号）により隔離される弁	1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器隔離弁機能 検査	
	原子炉格納容器隔離（P・V信号）により 隔離される弁	1. 機能・性能試験 (駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器隔離弁機能 検査	
	原子炉格納容器隔離弁	1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	52M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	13M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	104M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	104M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	
		1. 分解点検	高	104M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器隔離弁	4V-DP-001A		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-DP-001B		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-DP-002A		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-DP-002B		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CS-007		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CS-310		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CS-312		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CC-342		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CC-365		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CC-401		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CC-403		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CC-427		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-CC-429		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-1A-508A		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
		4V-1A-508B		高	130M	原子炉格納容器隔離弁分解 検査
	原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	高	52M～182M		
				13M～182M		
	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁	1式	高・低	B	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
				78M～260M	1次系弁検査	
			高	26/39M*	1次系弁検査	*：原子炉格納容器局部漏 えい率検査の実施時期にあ わせて実施
			高・低	52M～130M		
	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁駆動部	1式	高	B	1次系弁検査	
				65M～182M		
				13M～182M		
	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他機器	1式	高・低	13M～104M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術）
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、 弁駆動部等含む)	高	1F	原子炉格納容器安全系機能 検査	
		2. 機能・性能試験		1F	その他原子炉注水系機能検査	〔対象設備〕 ・ A 格納容器スプレイポン プによる代替炉心注入系 15回施設設定検から設定
		3. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、状態 監視等含む)		6M	運転中の主要機器機能検査 (状態監視含む)	プラント運転中 〔対象設備〕 ・ A、B 格納容器スプレイ ポンプ
	A 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	その他原子炉注水系ポンプ 分解検査 原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	(振動診断：3M) 前回は、格納容器スプレイ 系ポンプ分解検査として実 施 その他原子炉注水系ポンプ 分解検査は、15回施設設定 検から設定
		2. 分解点検 (電動機)		91M		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替)		130M		有効性評価 No. 18 の反映
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		
	B 格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	原子炉格納容器安全系ポン プ分解検査	(振動診断：3M) 前回は、格納容器スプレイ 系ポンプ分解検査として実 施
		2. 分解点検 (電動機)		91M		
		3. 簡易点検 (メカニカルシール取 替)		130M		有効性評価 No. 18 の反映
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M		
		5. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 （ ）内は適用する 設備診断技術
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設 備〕	A 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	1 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M		
	B 格納容器スプレイ冷却器	1. 開放点検	高	130M	1 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M	1 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M		
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	1. 分解点検	高	78M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査	前回は、原子炉格納容器ス プレイ系主要弁分解検査と して実施
		1. 分解点検		78M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査	
		1. 分解点検		130M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査	前回は、原子炉格納容器ス プレイ系主要弁分解検査と して実施
		1. 分解点検		130M	原子炉格納容器安全系主要 弁分解検査	前回は、原子炉格納容器ス プレイ系主要弁分解検査と して実施
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1. 分解点検	高	182M		
		2. 簡易点検 (特性点検)		13M～182M		
		1. 開放点検		130M		
	よう素除去薬品タンク	1. 分解点検	高	130M	1 次系真空破壊弁検査	
		1. 機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、 弁駆動部、ダンパ、ダン パ駆動部等含む)		1F	アニュラス循環排気系機能 検査	
		1. 分解点検				
	A アニュラス空気浄化ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	B		電動機分解時に実施
		2. 分解点検 (電動機)		CBM		(電動機 振動診断：1 M)
	B アニュラス空気浄化ファン・電動機	1. 分解点検 (ファン)	高	B		電動機分解時に実施
		2. 分解点検 (電動機)		CBM		(電動機 振動診断：1 M)
	A, B アニュラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ)	高	1F	アニュラス循環排気系フイ ルター性能検査	A 系、B 系交互に実施
		2. 開放点検 (フィルタ取替)		X*		X*：機能・性能試験結果に より適宜実施
	A アニュラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		260M		
	B アニュラス空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認)	高	1F	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		260M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕	可燃性ガス濃度制御系主要弁	4V-VS-102A	高	65M	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設検から設定
		4V-VS-102B	高	65M	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設検から設定
		4V-VS-103A	高	65M	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設検から設定
		4V-VS-103B	高	65M	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査は、15回施設検から設定
	静的触媒式水素再結合装置	5個	高	5F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	15回施設検時に設置
				5F		
				1F		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	14個	高	1F		15回施設検時に設置
				1F		
				1F		
				1F	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置		高	13M	計測制御系監視機能検査	15回施設検時に設置
			高	13M	計測制御系監視機能検査	15回施設検時に設置
			高・低	B	1次系弁検査	
				104M～130M	1次系安全弁検査	
	原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他の弁			78M～130M	1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他の弁駆動部	1式	高	B	1次系弁検査	
				78M～182M		
				13M～182M		
	原子炉格納施設 〔圧力低減設備その他の安全設備〕 その他機器	1式	高	10F		
				91M～130M		
	その他AM(格納容器内注水) 機器	1式	高	130M	1次系逆止弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術)
原子力設備 〔その他設備〕	クラス1機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	10Y	クラス1機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－1〕
				1F	クラス1機器供用期間中検査	
	クラス2機器（供用期間中検査対象） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	10Y	クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－2〕
				10Y	クラス2機器供用期間中検査	
	クラス3機器（供用期間中検査対象）	1式	高	10Y	クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－3〕
				10Y	クラス3機器供用期間中検査	
	クラス1機器Ni基合金使用部位 （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	5Y	供用期間中特別検査のうち クラス1機器Ni基合金使用 部位特別検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－4〕
	クラス2管（原子炉格納容器内） （重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む）	1式	高	25%/10Y	供用期間中特別検査のうち クラス2管（原子炉格納容 器内）特別検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－5〕
	重大事故等クラス2機器	1式	高	5～10Y	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－7〕
				10Y	重大事故等クラス2機器供 用期間中検査	
	重大事故等クラス3機器	1式	高	10Y	重大事故等クラス3機器供 用期間中検査	ISIプログラムによる。 〔参考資料1別紙－8〕
	クラス3・クラス4の配管等	1式	高	100%/10Y	構造健全性検査	16回施設検時から設定 排気筒については5 Fで実 施
	RCPBのベント・ドレン弁シート部	1式	高	13M	構造健全性検査	
	1次冷却材管ホップレストレイメント	84箇所	高	1F	レストレイント検査	
	主蒸気配管ホップレストレイメント	4箇所	高	1F	レストレイント検査	
	主給水配管ホップレストレイメント	10箇所	高	1F	レストレイント検査	
	原子力設備〔その他設備〕 その他の弁	1式	高・低	B		
	原子力設備〔その他設備〕 その他の弁駆動部		高・低	65M～260M	1次系弁検査	
				78M～130M		
	原子力設備〔その他設備〕 その他機器	1式	高	13M～130M		
	耐震クラスS、Bの支持構造物	1式	低	13M～130M		一部BMあり
	原子力設備・タービン設備 〔その他設備〕	1式	高	100%/10Y	耐震健全性検査	クラス1，2，3 供用期間 中検査対象機器を除く

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、 車軸〕	高圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		26M	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M		
	第1 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
		2. 外観点検		2F	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M		
	第2 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
		2. 外観点検		2F	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M		
	第3 低圧タービン	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
		2. 外観点検		2F	蒸気タービン開放検査	
		3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)		13M		
	ロータライメント 調速装置および非常用調速装置	1. 組立状況点検	高	B	蒸気タービン開放検査	
		1. 外観点検		1F	蒸気タービン開放検査	
		2. 組立状況点検		13M	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	1 主蒸気止め弁	MSV-1	高	B	蒸気タービン開放検査	
		MSV-2	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	2 主蒸気止め弁	MSV-3	高	B	蒸気タービン開放検査	
		MSV-4	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	3 主蒸気止め弁	G0V-1	高	B	蒸気タービン開放検査	
		G0V-2	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	4 主蒸気止め弁	G0V-3	高	B	蒸気タービン開放検査	
		G0V-4	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	1 蒸気加減弁	A1-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		A2-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	2 蒸気加減弁	A3-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		B1-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	3 蒸気加減弁	B2-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		B3-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	4 蒸気加減弁	A1-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		A2-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	A 1 再熱蒸気止め弁	A3-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		B1-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	A 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		B3-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	A 3 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		A2-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	B 1 再熱蒸気止め弁	A3-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		B1-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	B 2 再熱蒸気止め弁	B2-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		B3-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	B 3 再熱蒸気止め弁	A1-RSV	高	B	蒸気タービン開放検査	
		A2-RSV	高	13M	蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並び に調速装置で制御される主要弁〕	A 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
	A 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
	A 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
	B 1 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
	B 2 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
	B 3 インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
	復水・循環水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	蒸気タービン附属設備機能 検査	
	復水器	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査	
	復水器 1 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
蒸気タービン 〔復水器〕	復水器 2 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
	復水器 3 A	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
	復水器 1 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
	復水器 2 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
	復水器 3 B	1. 開放点検 (非破壊試験)	高	78M		
		2. 開放点検 (漏えい試験)		78M		
	A 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M		
		2. 分解点検 (電動機)		65M		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検 ポンプ)		26M		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M		
		2. 分解点検 (電動機)		65M		
		3. 簡易点検 (翼油導入装置点検 ポンプ)		26M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔復水器〕	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M		(振動診断：6M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M		(振動診断：6M)
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
	蒸気タービン〔復水器〕 その他機器	1. 分解点検他 1式	高	13M～260M		一部BMあり
		2. 分解点検他	低	13M～130M		
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換 器〕	A 湿分分離加熱器 (胴側)	1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検	高	130M	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		130M		
	B 湿分分離加熱器 (胴側)	3. 漏えい試験		130M		
		1. 開放点検	高	26M	蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検	高	130M	蒸気タービン開放検査	
	A 第 1 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		130M		
		1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
	B 第 1 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
		1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
	C 第 1 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
		1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
	A 第 2 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
		1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
	B 第 2 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
		1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
	C 第 2 低圧給水加熱器	2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
		1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換 器〕	A 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	B 第3 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	A 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	B 第4 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	A 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	B 第5 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
	脱気器タンク	1. 開放点検	高	39M	2 次系容器検査	
		2. 非破壊試験		39M	2 次系容器検査	
		3. 漏えい試験		65M		
	A 脱気器	1. 開放点検	高	39M	2 次系容器検査	
		2. 非破壊試験		130M	2 次系熱交換器検査	
		3. 漏えい試験		130M		
	B 第7 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		130M		
	グラント蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	2 次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		130M		
		3. 漏えい試験		65M		
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポ ンプ及び貯水設備並びに給水処理 設備〕	給水、復水系	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	1F	蒸気タービン附属設備機能 検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)				
		3. 分解点検 (タービン)				
	A タービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	2 次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M		
		3. 分解点検 (タービン)		52M	2 次系ポンプ分解検査	
	A タービン動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	Bタービン動主給水ポンプ・タービン	1. 機能・性能試験 (タービン)	高	B	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)		52M		
		3. 分解点検 (タービン)		52M	2次系ポンプ分解検査	
	Bタービン動主給水ポンプ・ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M		
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		52M		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	2次系ポンプ分解検査	
	電動主給水ポンプ・ブースタポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M		
	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M		
	B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M		
	C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M		
		2. 分解点検 (電動機)		78M		
		3. 簡易点検 (ポンプ)		13M		
	4 A 復水ろ過器	1. 開放点検	高	65M	2次系容器検査	有効性評価 No. 19 の反映
		1. 開放点検		65M	2次系容器検査	有効性評価 No. 19 の反映
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
	4 B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
	4 C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
	4 D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
	4 E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
	4 F 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
		1. 開放点検		130M	2次系容器検査	
蒸気タービン〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M～156M		一部BMあり
		2. 分解点検他	低	13M～130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	主な配管（主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統）	1式	1. 開放点検	高	13M	蒸気タービン開放検査	
			2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	蒸気タービン開放検査	
	2次系配管等＊（上記「蒸気タービン主な配管」以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他の系統） ＊：配管のほか、タービン、ポンプ、熱交換器、弁等を含む。	1式	1. 外観点検＊	高	10Y	2次系配管検査	施設定検起動後
			2. 非破壊試験	高・低	肉厚管理指針による	2次系配管検査	
蒸気タービン 〔その他設備〕	蒸気タービン及び附属設備		1. 保安装置点検	高	1F	蒸気タービン性能検査	一部施設定検起動後
	蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁		2. 負荷点検		1F	総合負荷性能検査	施設定検起動後
			1. 機能・性能試験	高・低	B	2次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高	13M～260M		
蒸気タービン 〔その他設備〕		1式	3. 分解点検	低	13M～260M		有効性評価 No. 13 の反映
			4. 簡易点検 （グラウンドパッキング取替）	高・低	52M～130M		
			1. 機能・性能試験	高・低	B		
			2. 分解点検		52M～182M		
	蒸気タービン〔その他設備〕 その他の弁駆動部	1式	3. 簡易点検 （特性点検）		13M～182M		
			1. 分解点検他	高	13M～130M		有効性評価 No. 14 の反映
			2. 分解点検他	低	13M～260M		一部BMあり
	蒸気タービン〔その他設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	130M～182M	1次系弁検査	
	その他AM(格納容器器内注水) 機器	1式	1. 機能・性能試験	高	1F	非常用予備発電装置機能検査 （ディーゼル発電機定格容量検査） 非常用予備発電装置機能検査 （ディーゼル発電機動作検査）	
		2台					
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	46台	1. 機能・性能試験	高	1F	非常用予備発電装置機能検査 （ディーゼル発電機動作検査）		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Aディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M～104M		
	Aディーゼル機関 連接棒、クランク軸	1. 分解点検他	高	13M～156M		
	Aディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 1, 9	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 3, 11	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 4, 12	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5, 13	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 6, 14	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 7, 15	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 8, 16	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Aディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Aディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル発電機	1. 分解点検他	高	13M～104M		
		1. 分解点検他	高	13M～156M		
		No. 1, 9	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 2, 10	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関のピストン、ピストン 連接棒、クランク軸	No. 3, 11	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 4, 12	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5, 13	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 6, 14	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 7, 15	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 8, 16	高	130M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕	Bディーゼル機関のシリンダカバー	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関の吸気弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関の排気弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
	ディーゼル発電機付属設備	No. 1-4, 9-12	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		No. 5-8, 13-16	高	26M	非常用ディーゼル発電機分 解検査	
		1. 外観点検	高	1F	非常用予備発電機付属設備 検査	
		2. 分解点検		26M～130M		
		3. 開放点検		26M～130M		
		4. 非破壊試験		13M	非常用予備発電機付属設備 検査	
		5. 漏えい試験		13M		
		6. 機能・性能試験		1F	非常用予備発電機付属設備 検査	
		7. 特性試験		13M	非常用予備発電機付属設備 検査	
		1. 機能・性能試験	高	1F	その他非常用発電装置の機 能検査 その他非常用発電装置の付 属設備検査	
		2. 取替他		120M		有効性評価 No. 15 の反映
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	15回施設設定検時に設置
電源車（可搬型代替低圧注水ポンプ用） 電源車 重油タンク その他発電用原子炉の附属施設〔非常用 発電装置〕 その他の弁 その他発電用原子炉の附属施設〔非常用 発電装置〕 その他機器	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	15回施設設定検時に設置
		1. 機能・性能試験	高	1F	可搬型代替電源設備検査	プラント運転中又は施設定 検停止中
	2台	1. 開放点検	高	10Y		15回施設設定検時に設置
		1. 機能・性能試験	高・低	B	非常用予備発電機付属設備 検査	
	1式	2. 分解点検		26M～130M		
		1. 分解点検他	高	13M～130M		
	1式	2. 分解点検他	低	13M～130M		一部BMあり

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔その他の電源装置〕	直流電源装置蓄電池	2組 (60個/組)	1. 機能・性能試験	高	1F	直流電源系機能検査
	計器用電源	4台	1. 機能・性能試験	高	1F	直流電源系作動検査
	可搬型整流器	1式	1. 分解点検他	高	26M	インバータ機能検査
		1個	1. 外観点検	高	1F	15回施設定検時に設置
			2. 電圧測定	1F		15回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕	可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)	1個	1. 外観点検	高	1F	15回施設定検時に設置
	その他発電用原子炉の附属施設 〔その他の機器〕	1式	2. 電圧測定	1F		
			1. 分解点検他	高	13M～26M	
	発電機設備	1式	2. 分解点検他	低	26M	
			1. 分解点検他	高	13M～104M	
	変圧器設備	1式	1. 分解点検他	高・低	13M～78M	
	しゃ断器	1式	1. 分解点検他	高・低	52M～156M	有効性評価 No. 16 の反映
	その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕	1式	1. 分解点検他	高	13M～156M	
	煙等流入防止装置 〔火災防護設備〕	1式	2. 分解点検他	低	13M～104M	
			1. 外観点検	高	1F	15回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護設備〕	その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護設備〕	1式	1. 特性試験他	低	13M	15回施設定検時に設置
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1式	1. 外観点検	高	10Y	プラント運転中又は施設定検停止中
			1. 外観点検	高	1Y	15回施設定検時に設置
	水密扉	1式	1. 外観点検	高		プラント運転中又は施設定検停止中
	潮位計	1台	1. 機能・性能試験	高	4F	15回施設定検時に設置
	A湧水サンポンプ・電動機		2. 取替	低	B*	計測制御系監視機能検査は、16回施設定検から実施
			1. 機能・性能試験	低	5Y	B*:取替にあわせて実施
	B湧水サンポンプ・電動機		2. 取替	低	B*	プラント運転中又は施設定検停止中
			1. 機能・性能試験	低	5Y	15回施設定検時に設置
			2. 取替	低		B*:取替にあわせて実施

機器又は系統名	実施数（機器名）		点検及び試験の項目		保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 () 内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕	その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 その他の弁 その他機器	1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、16回 施設定検から設定	
		1式	1. 外観点検他	高・低	130M 1F～10F			
土木建築設備	原子炉建屋（格納容器内壁） 原子炉建屋（格納容器外） 取水口設備	1式	1. 外観点検	高	1F			
		1式	1. 外観点検	高・低	1Y			プラント運転中又は施設定 検停止中
		1式	1. 外観点検	高	1F			プラント運転中又は施設定 検停止中
プラント総合	原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)		1. 総合性能試験	高	1F	総合負荷性能検査	施設定検起動後	
全般機器	諸機器		1. 分解点検他	低	6M～72M			プラント運転中又は施設定 検停止中

別図

施設定期検査時の安全管理の計画

施設定期検査時の安全管理の計画

(1/25)

主要工程			V解列 RCS降温																燃料装荷				起動試験				起動前升点検				V並列			
			R/V開放																1次系ポンプ他点検				R/V組立				RCS漏えい検査				調整運転			
RCS 水位			キャビティ湧水 RCS 熱水 ミッドループ RCS 全フロー																															
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-2	4	5-1	4	5-1	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	3
未臨界維持機能	第20条 停止余裕	モード3、4	・停止余裕：1.6%Δk/k 以上	—	×	×											×		×		×										×		×	
	停止余裕	モード5	・停止余裕：1.0%Δk/k 以上	—											×	×																		
	第22条 減速材温度係数	モード3	・減速材温度係数：-84×10 ⁻⁴ Δk/k/°C以上	—	×																												×	
	第86条 1次冷却材中のほう素濃度	モード6	・1次冷却材中のほう素濃度：2800ppm 以上	—						×	×															×	×							
放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	第50条 1次冷却材中のほう素濃度	モード3（1次冷却材温度が260°C以上）	・1次冷却材中のほう素濃度：4.0×10 ⁸ Bq/cm ² 以下	—	Δ																												Δ	
	第56条 原子炉格納容器	モード3、4	・原子炉格納容器は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉格納容器の機能が健全であること ・原子炉格納容器圧力9.8kPa[gage]以下 ・原子炉格納容器エアロックが動作可能（原子炉格納容器エアロックのインターロック機構が健全であること、および原子炉格納容器エアロックが閉止可能（閉止状態であることを含む）であること。モード4の原子炉格納容器バージ後、直ちに閉止できることを条件に原子炉格納容器エアロックの両方のドアを開放する場合、適用しない） ・原子炉格納容器隔離弁が動作可能（閉止可能（閉止状態であることを含む））	・原子炉格納容器 ・原子炉格納容器エアロック ・原子炉格納容器隔離弁																		×	Δ									×	×	
	第64条 原子炉格納容器スプレイ系	モード3、4	・原子炉格納容器スプレイ系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉格納容器スプレイ系2系統が動作可能（原子炉格納容器スプレイ系が動作不能時は、第90条（表90-4および表90-6）の運転上の制限も確認）（原子炉格納容器スプレイ系の弁閉閉点検を行う場合、2時間に限り適用しない） ・よう素除去薬品タンクのヒドランジ濃度：35wt%以上 ・よう素除去薬品タンクのヒドランジ溶液量（有効水量）：2.0m ³ 以上	・原子炉格納容器スプレイ系 ・よう素除去薬品タンク																		×	×											
第65条 アニュラス空気浄化系	モード3、4		・アニュラス空気浄化系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・アニュラス空気浄化系2系統動作可能（アニュラス空気浄化系が動作不能時は第90条（表90-11）の運転上の制限も確認）	・アニュラス空気浄化系	×	×																											×	
第66条 アニュラス	モード3、4		・アニュラスの機能が健全であること（原子炉格納容器内およびアニュラス内の機器の操作、点検等のため扉を開閉する間、適用しない） ・2系統が動作可能	・アニュラス	Δ	Δ																											Δ	
第77条 安全補機室空気浄化系	モード3、4			・安全補機室空気浄化系	×	×																											×	
第87条 放射性物質放	モード6（キャビティ高水		・原子炉キャビティ水位EL32.2m以上（原子炉格納容	・原子炉キャビティ																													×	

施設定期検査時の安全管理の計画

(2/25)

主要工程			V解列 RCS降温												燃料取出		燃料表荷		起動試験		起動前升点検		V並列	
			R/V開放												1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		調整運転			
RCS 水位			キャビティ排水 RCS 排水 ミッドループ RCS 全フロー																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3						
出の防止機能	原子炉キャビティ水位	位)	器内での燃料移動中以外の期間において、計画的な原子炉キャビティ抜きによりモード6(低水位)に移行する場合、運転上の制限を適用しない)	関連設備																				
第8条の2 原子炉格納容器貫通部		モード5、6	・機器ハッチが全ポートで閉じられていること（原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合、速やかに閉止できることを条件に以下のいずれかを満足する場合に開放することを経容する。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。） ・1次冷却材ポンプ停止中で余熱除去系統による冷却時、加圧器安全弁が健全であることおよび加圧器水位が10～30%の範囲内にある場合。 ・原子炉キャビティ水位がE.L.32.2m以上である場合。 ・各エアロックが1つ以上のドアで閉止可能（閉止状態であることを含む） ・その他の貫通部のうち、隔離弁については閉止可能であること（閉止状態であることを含む）、隔離弁以外については閉止フランジまたは同等なものによって閉じられていること（原子炉格納容器内で燃料移動を行っていない場合は、速やかに閉止できることを条件に開放することが許容される。この場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。）	・原子炉格納容器機器ハッチ ・原子炉格納容器エアロツク ・原子炉格納容器隔離弁 ・原子炉格納容器バウンダリ																				
第9条 使用済燃料ピットの水 位および水温		全モード	・使用済燃料ピット水位：E.L.32.2m以上（照射済燃料の移動を行っていない場合は適用しない） ・使用済燃料ピット水温：65℃以下	・使用済燃料ピット	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△						
第37条 1次冷却系		モード3	・蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・蒸気発生器による熱除去系が動作不能時は、第90条（表90-8）の運転上の制限も確認。 ・制御棒の引抜き操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中 ・制御棒の引抜き操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中	・使用済燃料ピット冷却系 ・蒸気発生器 ・1次冷却材系統 ・1次冷却材ポンプ	×												×							
第38条 1次冷却系		モード4	・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・蒸気発生器による熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（動作不能時は、第90条（表90-4）の運転上の制限も確認）または蒸気発生器による熱除去系（動作不能時は、第90条（表90-8）の運転上の制限も確認）のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中	・余熱除去系統 ・蒸気発生器 ・1次冷却材系統 ・1次冷却材ポンプ													×							
第39条 1次冷却系		モード5-1	・余熱除去系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・余熱除去系（余熱除去系が動作不能時は、第90条（表90-4）の運転上の制限も確認）1系統が運転中（計	・余熱除去系統 ・蒸気発生器 ・1次冷却材系統													×							

主要工程			V解析 RCS降温																燃料装荷		起動試験		起動前升点検		V並列	
			R/V開放																1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査			
RCS 水位			キャビティ湧水 RCS 熱水 ミッドループ RCS 全フロー																							
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3							
第40条 1次冷却系		モード5-2	面的にモード4に加熱する場合は、蒸気発生器1基以上の水位（狭域）が計器スパンの5%以上であることを条件に全ての余熱除去系を隔離することを許可） ・他の余熱除去が動作可能または運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位（狭域）が計器スパンの5%以上であること（計画的にモード4に加熱する場合以上																							

施設定期検査時の安全管理の計画

(5/25)

主要工程										V解列 RCS降溫										燃料取出										燃料装荷										V並列																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
RCS 水位										R / V 開放										1 次系ポンプ他点検										R / V 組立										RCS 漏えい検査										起動試験										起動前弁点検										起動試験										調整運転																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
										キャビティ満水 RCS 満水 ミッドループ RCS 全フロー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

施設定期検査時の安全管理の計画

(6/25)

主要工程			V解列 RCS降溫										燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前升点検		V並列	
RCS水位			キャビティ満水 RCS 熱水 ミッドループ RCS 全フロー										R/V開放		1次系ポンプ地点検		R/V組立		RCS漏えい検査		調整運転	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3			
工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	第47条 1次冷却材漏えい率	モード3、4	・原子炉格納容器サンブル水位計および炉内計装用シンブル配管室ドレンビット漏えい検出装置によって測定される未確認の漏えい率：0.23m³/h 以下（炉内計装用シンブル配管室ドレンビット漏えい検出装置によって測定される漏えい率は全て未確認の漏えい率とみなす） ・原子炉格納容器サンブル水位計によって測定される原子炉冷却材圧力バウンダリ以外からの漏えい率：2.3m³/h 以下 ・原子炉格納容器サンブル水位計および炉内計装用シンブル配管室ドレンビット漏えい検出装置が動作可能	・1次冷却材系統 ・原子炉格納容器サンブル配管室ドレンビット漏えい検出装置 ・炉内計装用シンブル配管室ドレンビット漏えい検出装置	×	×																
	第48条 蒸気発生器細管漏えい監視	モード3、4	・蒸気発生器細管に漏えいがないこと ・蒸気発生器細管漏えい監視装置（蒸気発生器ブローダウン水モニタ）が動作可能（プラント状態により監視ができない場合、洗浄中を除く）	・蒸気発生器細管 ・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	×	×													×			
	第49条 余熱除去系への漏えい監視	モード3、4（余熱除去系隔離弁が閉じている場合）	・1次冷却系から余熱除去系への漏えいがないこと（余熱除去系の逃がし弁が作動していないこと）	・余熱除去系隔離弁 ・余熱除去系逃がし弁	×	△											△			×		
	第34条 計測および制御設備（原子炉保護系計装）	モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が閉じ、制御棒の引き抜きが行える場合）	・原子炉保護系論理回路：4系統 ・手動原子炉トリップ：2チャンネル ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（「中間領域中性子束高」2チャンネルが動作可能であることを条件に、P-6リセット時においては、2チャンネルをバイパスすることを許容。「中性子源領域炉停止時中性子束高」の警報を設定する場合は、残りのチャンネルが動作可能であることを条件に、2時間に限り、1チャンネルをバイパスをすることを許容。）	・原子炉保護計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
工学的安全施設および制御設備（工学的安全施設等作動計装）	第34条	モード3、4、5（原子炉トリップ遮断器が開放されている場合）	・中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ） ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ） ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ）	・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中でない場合）	・中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ） ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ）	・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
		モード6（原子炉格納容器内での燃料移動中の場合）	・中性子源領域中性子束高：1チャンネル（監視機能のみ） ・中性子源領域中性子束高：2チャンネル（監視機能のみ）	・左記信号検出、伝送ライン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
		モード3、4	・非常用炉心冷却系作動論理回路：2系統※1 ・（非常用炉心冷却系）手動起動：2チャンネル ・原子炉格納容器スプレイ系作動論理回路：2系統※1 ・（原子炉格納容器スプレイ系・原子炉格納容器隔離B・格納容器換気空調隔離）手動起動：4チャンネル ・原子炉格納容器隔離A作動論理回路：2系統※1 ・（原子炉格納容器隔離A・格納容器換気空調隔離）手動起動：2系統※1	・非常用炉心冷却系作動計装 ・原子炉格納容器スプレイ系作動計装 ・原子炉格納容器隔離A作動計装 ・原子炉格納容器隔離B作動計装	×	×													×	×		

施設定期検査時の安全管理の計画

(7/25)

主要工程			V解列 RCS降溫																燃料装荷		燃料取出		R/V開放		起動前弁点検		起動試験		V並列	
RCS 水位			キャビティ排水 RCS 排水 ミッドループ RCS 全フロー																1次系ポンプ地点検		R/V組立		RCS漏えい検査						調整運転	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3											
		モード3	動起動：2チャンネル ・(原子炉格納容器隔離A) 非常用炉心冷却系作動 ・原子炉格納容器隔離B作動論理回路：2系統※1 ・原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離作動論理回路：2系統※1 ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離) 原子炉格納容器隔離A ・(原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離) 非常用高圧母線低電圧：1母線あたり3チャンネル ・原子炉格納容器換気空調隔離作動論理回路：2系統※1 ・(原子炉格納容器換気空調隔離) 非常用炉心冷却系作動 ※1：原子炉保護系論理回路の機能検査時に限って残り1系統が動作可能であることを条件に2時間に限り1系統バイパスすることができる。(本表において同じ)	動計装 ・原子炉格納容器隔離Aと非常用高圧母線低電圧信号による隔離作動計装 ・原子炉格納容器換気空調隔離作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン																										
			・(非常用炉心冷却系) 原子炉格納容器圧力高：4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(原子炉格納容器スプレイ系・原子炉格納容器隔離B) 原子炉格納容器圧力異常高：4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・主蒸気ライン隔離作動論理回路：2系統※1 ・(主蒸気ライン隔離) 手動起動：2チャンネル ・(主蒸気ライン隔離)：原子炉格納容器圧力異常高：4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる)	・左記信号検出、伝送ライン	×														×											
			・(主蒸気ライン隔離) 手動起動：2チャンネル ・(主蒸気ライン隔離)：原子炉格納容器圧力異常高：4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力低：各主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(主蒸気ライン隔離) 主蒸気ライン圧力減少率高：各主蒸気ライン毎に4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる)	・主蒸気ライン隔離作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン																										
		モード3 (主給水隔離弁、主給水制御弁、主給水バイパス制御弁が閉止または隔離されている場合は除く)	・給水隔離作動論理回路：2系統※1 ・(給水隔離) 蒸気発生器水位異常高：1基あたり4チャンネル(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる) ・(給水隔離) 非常用炉心冷却系作動 ・(給水隔離) 1次冷却材平均温度低と原子炉トリップの一致：[1次冷却材平均温度低：4チャンネル(残りの	・給水隔離作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン		△														△				△						

施設定期検査時の安全管理の計画

(8/25)

主要工程				V解列 RCS降温																燃料取出		燃料表荷		起動試験		起動前升点検		V並列	
				R/V開放																1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査					
RCS水位				キャビティ湧水 RCS 熱水 ミッドループ RCS 全フロー																									
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3										
安全上特に重要な関連機能 (電源供給)	第34条 計測および制御設備（ディーゼル発電機起動計装）	モード3（P-11以上）	の3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる）】【原子炉保護計装】																										
			・（非常用炉心冷却系）原子炉圧力低：4チャンネル（残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる） ・（非常用炉心冷却系・主蒸気ライン隔離）主蒸気ライン圧力低：各主蒸気ライン毎に4チャンネル（残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる） ・ P-11（加圧器圧力）：4チャンネル	・左記信号検出、伝送ライン																									
				△																△									
		モード3（P-11未満）	・（主蒸気ライン隔離）主蒸気ライン圧力減少率高：各主蒸気ライン毎に4チャンネル（残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に1チャンネルをバイパスできる）	・左記信号検出、伝送ライン																									
		モード3、4	・ディーゼル発電機起動論理回路：2系統 ・（ディーゼル発電機起動）非常用炉心冷却系動作	・ディーゼル発電機起動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	△	×												×			×								
第78条の3 外部電源		モード5、6および照射済燃料移動中	・ディーゼル発電機起動論理回路：1系統	・ディーゼル発電機起動計装 ・左記信号検出、伝送ライン			×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×											
		モード3、4、5、6および照射済燃料移動中	・（ディーゼル発電機起動）非常用高圧母線低電圧：所要の母線あたり3チャンネル (1)外部電源3回線（当該原子炉に対する個々の非常用高圧母線全てに対して電力供給することができる発電所外からの送電線の回線数）以上が動作可能（送電線事故の発生時は適用しない） (1)の外部電源のうち1回線以上は他の回線に対して独立性を有していること。（独立性を有するとは、「送電線の上流において1つの発電所または開閉所のみに連鎖しないこと」をいう。1つの発電所または開閉所のルートにより供給または受電している場合であっても、設備構成として、別ルートで連系が可能な状態であれば独立性を有していることとみなすことができる。）	・外部電源 ・予備変圧器	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×									
第79条 ディーゼル発電機		モード3、4	・ディーゼル発電機2基が動作可能（予備潤滑運転（ターニング、エアラン）を行う場合適用しない）（ディーゼル発電機が動作不能時は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認する。） ・燃料油サービスタンク貯油量（保有油量）：0.95m ³ 以上（ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24	・ディーゼル発電機 ・燃料油サービスタンク	×	×													×	×									

施設定期検査時の安全管理の計画

主要工程										V解列 RCS降温		燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		V並列	
										R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査				調整運転	
RCS 水位																					
キャビティ湧水 RCS 湧水 ミッドループ RCS 全フロー																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-1	4	5-1	4	3				
第80条 ディーゼル発電機		モード5、6およびモード外	時間は適用しない ・ディーゼル発電機は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・ディーゼル発電機2基が動作可能であること（ディーゼル発電機が動作不能時は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認する。ディーゼル発電機の予備潤滑運転（ターニング、エアラン）を行う場合適用しない）（ディーゼル発電機には非常用発電機（所要の電力供給が可能なものをいい、複数の号炉で共用することができる）1基を含めることができる） ・上記ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタンク貯油量（保有油量）：0.95m ³ 以上（ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は適用しない）	・ディーゼル発電機 ・非常用発電機（運用を開始するまでは、所要の電力供給が可能な、他の号炉のディーゼル発電機または移動式発電装置を非常用発電機とみなす） ・燃料油サービスタンク			×	×	×	×	×	×									
		モード3、4、5、6およびモード外	・燃料貯蔵タンクおよび重油タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・所要のディーゼル発電機の燃料貯蔵タンクおよび重油タンクの合計油量（燃料貯蔵タンクの油量（保有油量）128m ³ 以上を含む。）：297m ³ 以上※2 ・所要のディーゼル発電機の潤滑油タンクの油量（保有油量）：5.5m ³ 以上※2 ・所要のディーゼル発電機の起動空気だめ圧力：2.50Mpa [gauge] 以上※2 （燃料貯蔵タンクおよび重油タンクの油量を確認する場合は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認する。） ※2：予備潤滑運転（ターニング、エアラン）を行う場合適用しない。ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は適用しない。	・ディーゼル発電機燃料貯蔵タンク ・ディーゼル発電機潤滑油タンク ・ディーゼル発電機起動空気だめ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
第82条 非常用直流電源		モード3、4	・蓄電池は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・非常用直流電源2系統（蓄電池（安全防護系用）（蓄電池が動作不能時は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認）および充電器（充電器または予備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能）が動作可能 ・蓄電池は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・所要の設備の維持に必要で非常用直流母線に接続する系統（蓄電池（安全防護系用）（蓄電池が動作不能時は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認）および充電器（充電器または予備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能）が動作可能 次の所内非常用母線が受電していること（電源の自動切替の間は適用しない） ・2つの非常用高圧母線 ・4つの非常用低圧母線	・非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池	×	×															
第83条 非常用直流電源		モード5、6および照射済燃料移動中	・蓄電池は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・所要の設備の維持に必要で非常用直流母線に接続する系統（蓄電池（安全防護系用）（蓄電池が動作不能時は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認）および充電器（充電器または予備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能）が動作可能 次の所内非常用母線が受電していること（電源の自動切替の間は適用しない） ・2つの非常用高圧母線 ・4つの非常用低圧母線	・非常用直流充電器 ・非常用直流蓄電池			×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×				
第84条 所内非常用母線		モード3、4	・蓄電池は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・所要の設備の維持に必要で非常用直流母線に接続する系統（蓄電池（安全防護系用）（蓄電池が動作不能時は、第90条（表90-15）の運転上の制限も確認）および充電器（充電器または予備充電器のいずれかをいい、両方が機能喪失した場合、動作不能）が動作可能 次の所内非常用母線が受電していること（電源の自動切替の間は適用しない） ・2つの非常用高圧母線 ・4つの非常用低圧母線	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線	×	×															

施設定期検査時の安全管理の計画

(10/25)

主要工程			V解列 RCS降溫										燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前弁点検		V並列	
RCS水位			キャビティ湧水 RCS 熱水 ミッドループ RCS 全フロー										R/V開放		1次系ポンプ地点検		R/V組立		RCS漏えい検査		調整運転	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	5-2	4	5-1	4	3		
安全上特に重要な関連機能 (海水系統他)	第85条 所内非常用母線 料移動中	モード5、6および照射済燃 料移動中	・2つの非常用直流母線 ・4つの非常用計器用母線 所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電 していること（電源の自動切替の間は適用しない） ・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線	・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流母線 ・非常用計器用母線																		
			・原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能（原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第90条（表90-7）の運転上の制限も確認）	・原子炉補機冷却水系	×	×											×		×			
	第73条 原子炉補機冷却水系	モード3、4	・原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能（A原子炉補機冷却水系が動作不能時は第90条（表90-7）の運転上の制限も確認）	・原子炉補機冷却水系	×	×											×		×			
	第74条 原子炉補機冷却海水系	モード3、4	・原子炉補機冷却海水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却海水系2系統が動作可能（A原子炉補機冷却海水系が動作不能時は第90条（表90-7）の運転上の制限も確認）	・原子炉補機冷却海水系	×	×											×		×			
安全上特に重要な関連機能 (制御用空気系)	第75条 制御用空気系	モード3、4	制御用空気圧力（母管圧力）：0.60MPa [Gage]以上	・制御用空気系	×	×											×		×			
	第34条 計測および制御設備（中央制御室非常用循環系計装）	モード3、4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室非常用循環系作動論理回路：所要の中央制御室非常用循環系につき2系統 ・（中央制御室非常用循環系）手動起動：所要の中央制御室非常用循環系につき2チャンネル	・中央制御室非常用循環系作動計装 ・左記信号検出、伝送ライン	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△	×	×		
	第34条 計測および制御設備（中央制御室非常用循環系計装）	モード3、4	・（中央制御室非常用循環系）非常用炉心冷却系作動	・左記信号検出、伝送ライン	×	×											×		×			
	第76条 中央制御室非常用循環系	モード3、4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	・中央制御室非常用循環系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・中央制御室非常用循環系2系統以上動作可能（中央制御室あたり）（中央制御室非常用循環系が動作不能時は、第90条（表90-17）の運転上の制限も確認）	・中央制御室非常用循環系	×	×	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△	×	×		
制御室外から安全停止機能	第34条 計測および制御設備（中央制御室外原子炉停止装置）	モード3	・ほう酸ポンプ ・加圧器圧力	・中央制御室外原子炉停止装置	×															×		
	第34条 計測および制御設備（中央制御室外原子炉停止装置）	モード3、4	・充てんポンプ ・加圧器後備ヒータ ・抽出水オリフィス隔離弁 ・海水ポンプ ・原子炉補機冷却水ポンプ ・電動補助給水ポンプ ・加圧器水位	・中央制御室外原子炉停止装置	×	×														×		×

計画安全管理時の定期検査

(11/25)

[illegible]

施設定期検査時の安全管理の計画

(12/25)

主要工程			V並列 RCS降温																燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前升点検		V並列	
RCS 水位			キャビティ湧水 RCS 湧水 ミッドループ RCS 全フロー																R/V開放		1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査		調整運転	
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3									
第90条 (表90-4-3) 代替炉心注水-B充てん ポンプ(自己冷却)による 代替炉心注水-		モード3、4、5および6	材圧力 6.89MPa[gage]を超える場合)) ・蓄圧タンク出口弁全開(手動での開弁および閉弁ができること) ・モード3(1次冷却材圧力 6.89MPa[gage]以下の場合)、4、5および6において圧力が 1.0MPa[gage]以上であること。 ・蓄圧タンク4基(モード3(1次冷却材圧力 6.89MPa[gage]以下の場合)、4、5および6においては3基) ・B充てんポンプ(自己冷却)による充てん注入系が動作可能(ポンプ手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であること)	・B充てんポンプ(自己冷却)1台 ・燃料取替用水ピット ・復水ピット ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										
			・A格納容器スプレポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注入系が動作可能(ポンプ手動起動(系統構成含む)できること)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×								
			・可搬式代替低圧注水ポンプ(可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車含む)1台×2 ・送水車1台×2 ・仮設組立式水槽1台×2 ・軽油ドラム缶 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×								
第90条 (表90-4-4) 代替炉心注水-A格納容器 スプレポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水-		モード3、4、5および6	・A格納容器スプレポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注入系が動作可能(ポンプ手動起動(系統構成含む)できること)	・A格納容器スプレポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)1台 ・燃料取替用水ピット	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×									
第90条 (表90-4-5) 代替炉心注水-可搬式 代替低圧注水ポンプによる 代替炉心注水-		モード3、4、5および6	・可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注入系2系統が動作可能	・可搬式代替低圧注水ポンプ(可搬式代替低圧注水ポンプ用電源車含む)1台×2 ・送水車1台×2 ・仮設組立式水槽1台×2 ・軽油ドラム缶 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										
第90条 (表90-4-6) 代替再循環		モード3、4、5および6	・A格納容器スプレポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環系が動作可能(ポンプ手動起動(系統構成含む)できること) ・B高圧注入ポンプ(海水冷却)による高圧代替再循環系が動作可能(ポンプ手動起動(系統構成含む)できること)	・A格納容器スプレポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)1台 ・A格納容器スプレイ冷却器1基 ・A格納容器スプレポンプ再循環サンプリング容器入口隔壁1台 ・格納容器再循環サンプ2基 ・格納容器再循環サンプスクリーン2基 ・B高圧注入ポンプ(海水冷却)1台 ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×										

施設定期検査時の安全管理の計画

(13/25)

主要工程										V解列 RCS降溫										燃料取出										燃料装荷										起動試験										起動前弁点検										V並列																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
RCS 水位										キャビティ満水 RCS 減水 ミッドループ RCS 全フロー										R/V開放										1次系ポンプ地点検										R/V組立										RCS漏えい検査										調整運転																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モータ外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	5-1	4	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
第90条 (表90-5-1) 加圧器逃がし弁による減 圧		モード3	・窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)または可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)を使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系の減圧系が動作可能 ・可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)を使用した加圧器逃がし弁による1次冷却系の減圧系が動作可能	・タンクローリー ・窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)10本(1セット10本(A系統5本、B系統5本) ・可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)2台(1セット2台(A系統1台、B系統1台) ・可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)1個 ・空冷式非常用発電装置 ・可搬式整流器 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

施設定期検査時の安全管理の計画

(14/25)

主要工程			▽解析列 RCS降温																	燃料取出				燃料装荷				起動試験				起動前弁点検				V並列			
RCS 水位			R/V開放																	1次系ポンプ地点検				R/V組立				RCS漏えい検査				調整運転							
			キャビティ湧水 RCS 湧水 ミッドロープ RCS 全フロー																																				
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3																				
第90条 (表90-7-2) 大容量ポンプによる原子 炉格納容器内自然対流 冷却および代替補機冷 却		モード3、4、5および6	・大容量ポンプによる海水供給系(大容量ポンプから海水 管接続口まで)2系統が動作可能	・可搬型温度計測装置(格納 容器再循環ユニット入口温 度／出口温度(SA)用) ・大容量ポンプ1台×2(3号 炉および4号炉の合計) ・A、D格納容器再循環ユニッ ト ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー ・可搬型温度計測装置(格納 容器再循環ユニット入口温 度／出口温度(SA)用) ・B高圧注入ポンプ(海水冷 却)																																			
				・空冷式非常用発電装置 ・電動補助給水ポンプ2台 ・タービン動補助給水ポンプ1台 ・タービン動補助給水ポンプ起 動弁(現場手動操作)1台 ・蒸気発生器4基 ・復水ピット ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー																																			
第90条 (表90-8-1) 蒸気発生器2次側による 炉心冷却(注水)		モード3および4(蒸気発生器 が熱除去のために使用されて いる場合)	・復水ピットを水源とした電動補助給水ポンプ(2台で1系統 (本表に限る)による蒸気発生器への給水系1系統が動作 可能(ポンプ手動起動(系統構成含む)できること、または 運転中であること) ・復水ピットを水源としたタービン動補助給水ポンプによる蒸 気発生器への給水系1系統が動作可能(ポンプ手動起動 (系統構成含む)できること、または運転中であること、原 子炉起動時のモード3において試運転に係る調整を行なっ ている場合は運転上の制限は適用しない、現場手動によ る起動を含む)	・電動補助給水ポンプ2台 ・タービン動補助給水ポンプ1台 ・タービン動補助給水ポンプ起 動弁(現場手動操作)1台 ・蒸気発生器4基 ・復水ピット ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	△	△											△	△	△																				
第90条 (表90-9-1) 蒸気発生器2次側による 炉心冷却(蒸気放出)		モード3および4(蒸気発生器 が熱除去のために使用されて いる場合)	・主蒸気速がし弁が手動での開弁ができること(現場手動 含む)	・主蒸気速がし弁4個	×	△												△	△	×																			
第90条 (表90-10-1) 水素濃度低減		モード3、4、5および6	・静的触媒式水素再結合装置の所要数が動作可能 ・静的触媒式水素再結合装置温度監視装置の所要数が動 作可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置の所要数が動作可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置の所要数が2系統の電源 から受電可能 ・原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置の所要数が 動作可能	・静的触媒式水素再結合装置 5基 ・静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置5個 ・原子炉格納容器水素燃焼装 置 13個 ・原子炉格納容器水素燃焼装 置温度監視装置 13個 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																				
第90条 (表90-10-2) 水素濃度監視		モード3、4、5および6	・可搬型格納容器水素ガス濃度計等による水素濃度監視 系1系統(可搬型格納容器水素ガス濃度計1個、格納容器 水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ1台、可搬型 格納容器水素ガス試料圧縮装置1台、格納容器水素ガス 試料冷却器1個および格納容器水素ガス試料水分離器 台	・可搬型格納容器水素ガス濃 度計1個 ・格納容器水素ガス試料冷却 器用可搬型冷却水ポンプ1 台	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																				

施設定期検査時の安全管理の計画

(15/25)

主要工程			▽並列 RCS降温												燃料取出		燃料装荷		起動試験		起動前点検		▽並列	
			R/V開放												1次系ポンプ他点検		R/V組立		RCS漏えい検査				調整運転	
RCS 水位			キャビティ湧水 RCS 湧水 ミッドループ RCS 全フロー																					
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	関連設備	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-2	6-1	4	5-1	4	5-1	4	3				
第90条 (表90-11-1) 水素排出		モード3、4、5および6	1個ならびに窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セット または可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セッ ト)が動作可能	・可搬型格納容器水素ガス試 料圧縮装置1台 ・格納容器水素ガス試験料冷却 器1個 ・格納容器水素ガス試験料湿分 分離器1個 ・窒素ポンベ(代替制御用空気 供給用)10本(1セット10 本(A系統5本、B系統5本)) ・可搬式空気圧縮機(代替制 御用空気供給用)2台(1セッ ト2台(A系統1台、B系統1 台)) ・大容量ポンプ ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー																				
			・アニュラス空気浄化系の1系統が動作可能(ファン手動起 動(系統構成含む)できること、または運転中であること) ・代替空気系統(動作可能なアニュラス空気浄化系に接続 可能な窒素ポンベ(代替制御用空気供給用)1セットまた は可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)1セット) が動作可能	・アニュラス空気浄化ファン1 台 ・アニュラス空気浄化フィルタ ユニット1基 ・窒素ポンベ(代替制御用空気 供給用)5本(1セット5本 (A系統5本またはB系統5 本)、可搬式空気圧縮機(代 替制御用空気供給用)1セッ ト(1セット1台(A系統1台ま たはB系統1台)) ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク ・タンクローリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
第90条 (表90-12-1) 海水から使用済燃料ピッ トへの注水		使用済燃料ピットに燃料体を 貯蔵している期間	・送水車による海水から使用済燃料ピットへの注水系2系 統動作可能	・送水車1台×2 ・軽油ドラム缶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
第90条 (表90-12-2) 使用済燃料ピットへのス プレイ		使用済燃料ピットに燃料体を 貯蔵している期間	・使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋外に配備する設 備について2系統(1系統は屋外に配備する送水車1台) が動作可能 ・使用済燃料ピットへのスプレイ系のうち屋内に配備する設 備について1系統(1系統は屋内に配備するスプレイヘッ ダ4個(1セット2個、3号炉および4号炉共用の予備機2個 を含む))が動作可能	・送水車1台×2 ・スプレイヘッド4個 ・軽油ドラム缶	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
第90条 (表90-12-3) 使用済燃料ピットの監視		使用済燃料ピットに燃料体を 貯蔵している期間	・使用済燃料ピット水位(AM/用)2個(動作可能な当該設備 が所要数を満足しない場合において、可搬式使用済燃料 ピット水位の所要数が動作可能である場合、運転上の制 限を満足してはいないとはみなさない)	・左記監視計装 ・空冷式非常用発電装置 ・燃料油貯蔵タンク ・重油タンク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				